後期高齡者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計

1 事業概要

後期高齢者医療制度は、高齢者が安心できる適切な医療の確保を目的として創設されました。 平成 20 年の制度施行以来、新たな保険料負担に対する激変緩和措置として、一定の条件に該当 する方の保険料に対し軽減措置を実施してきましたが制度の持続性を高めるため、世代間・世代 内の負担の公平を図り、負担能力に応じた負担をしていただく観点により平成 29 年度から見直 しが実施され、令和4年 10 月 1 日からは一定以上の所得のある世帯の方に対する窓口負担割合 の2割化が新設されました。

後期高齢者医療制度は、長野県後期高齢者医療広域連合が保険者として事業の運営を行い、長野県内全市町村で構成されています。

広域連合と市町村で役割分担が明確化されており、保険料については広域連合が賦課し、市町村が徴収をすることとなっています。

市町村は特別会計を設け、徴収した保険料や決められた事務的経費などを広域連合へ納付します。

2 加入状況

(令和7年3月31日現在)

	後期高齢者被保	険者数	全人口に占める被保険者
	全被保険者数	内障害認定	の加入割合
令和 6 年度	18,304 人	138 人	19.2 %
令和 5 年度	17,846 人	161 人	18.9 %
令和 4 年度	17,238 人	189 人	17.9 %

3 一人当りの年間医療費の状況

令和 6 年度	902, 224 円
令和 5 年度	883,695 円
令和 4 年度	860,069 円

[※]令和6年度は速報値。

4 歳入状況

(1) 歳入内訳 (単位:円)

区	分	特別徴収保険料 (現年分)①	普通徴収保険料 (現年分)②	普通徴収保険料 (滞納繰越分) ③	督促手数料	小計(5) ① +②+③+ ④
令和	6 年度	827, 787, 600	459, 010, 500	1, 434, 306	162, 400	1, 288, 394, 806
令和	5 年度	734, 006, 200	362, 973, 404	1, 080, 660	144, 100	1, 098, 204, 364
令和 4	4 年度	702, 962, 900	350, 392, 000	1, 236, 848	150, 400	1, 054, 742, 148

区分	国庫 補助 ⑥	소 ⁼	事務費繰入金⑦	保険基盤 安定 繰入金®	繰越金 ⑨	保険料 還付金 還付 加算金	延滞金 (l)	合 計 (⑤+⑥+⑦+⑧ +⑨+⑩+⑪)
令和 6 年	连度	0 46	6, 905, 127	308, 187, 839	33, 663, 891	727, 300	49,000	1, 677, 927, 963
令和 5 年	连度	0 45	5, 296, 522	275, 869, 414	34, 182, 559	825, 700	75, 100	1, 454, 453, 659
令和 4 年	连度	0 37	7, 351, 530	263, 288, 168	28, 590, 942	473, 800	24, 100	1, 384, 470, 688

(2) 一般会計繰入金内訳

(単位:円)

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
保険基盤安定繰入金	308, 187, 839	275, 869, 414	263, 288, 168
広域連合事務費分	40, 925, 627	39, 881, 322	32, 281, 630
特別会計事務費分	5, 979, 500	5, 415, 200	5, 069, 900
合 計	355, 092, 966	321, 165, 936	300, 639, 698

(3) 保険料収納状況

ア保険料率 均等割額:6・7年度 44,365円 (4・5年度 40,907円)

所得割率:6・7年度 9.45 % (4・5年度 8.43%)

イ保険料収納率等の推移

特別徴収:現年度分 (単位:円・%)

年度	調定額①	収入済額②	不納 欠損額③	収 入 未済額 (①-②-③)	収納率 ②/①	未済額の 年度比較	備考
6	825, 884, 300	827, 787, 600	0	△1, 903, 300	100. 23		還付未済
5	733, 240, 200	734, 006, 200	0	△766, 000	100.10		還付未済
4	701, 933, 500	702, 962, 900	0	△1, 029, 400	100. 15		還付未済

※未済額の年度比較=当該年度-前年度

普通徵収:現年度分

(単位:円・%)

年度	調定額①	収入済額②	不 納 欠損額③	収 入 未済額 (①-②-③)	収納率 ②/①	未済額の 年度比較	備考
6	461, 960, 200	459, 010, 500	0	2, 949, 700	99. 36	1, 305, 004	
5	364, 618, 100	362, 973, 404	0	1, 644, 696	99. 55	223, 996	
4	351, 812, 700	350, 392, 000	0	1, 420, 700	99.60	△435 , 698	

※未済額の年度比較=当該年度-前年度

現年度分計 (特別徴収+普通徴収)

(単位:円・%)

年度	調定額①	収入済額②	不	収 入 未済額 (①-②-③)	収納率 ②/①	未済額の 年度比較	備考
6	1, 287, 844, 500	1, 286, 798, 100	0	1, 046, 400	99. 92	167, 704	
5	1, 097, 858, 300	1, 096, 979, 604	0	878, 696	99. 92	487, 396	
4	1, 053, 746, 200	1, 053, 354, 900	0	391, 300	99. 96	△1, 177, 598	

※未済額の年度比較=当該年度-前年度

滞納繰越分

(単位:円・%)

年度	調定額①	収入済額②	不 納 欠損額③	収 入 未済額 (①-②-③)	収納率 ②/①	未済額の 年度比較	備考
6	5, 169, 156	1, 434, 306	148, 500	3, 586, 350	27. 75	158, 690	
5	5, 323, 020	1, 080, 660	814, 700	3, 427, 660	20.30	△354, 160	
4	5, 435, 168	1, 236, 848	416, 500	3, 781, 820	22. 76	286, 950	

※未済額の年度比較=当該年度-前年度

現年度分計+滞納繰越分

(単位:円・%)

年度	調定額①	収入済額②	不 納 欠損額③	収 入 未済額 (①-②-③)	収納率 ②/①	未済額の 年度比較	備考
6	1, 293, 013, 656	1, 288, 232, 406	148, 500	4, 632, 750	99. 63	326, 394	
5	1, 103, 181, 320	1, 098, 060, 264	814, 700	4, 306, 356	99. 54	133, 236	
4	1, 059, 181, 368	1, 054, 591, 748	416, 500	4, 173, 120	99. 57	△890, 648	

※未済額の年度比較=当該年度-前年度

(4) 保険料の軽減状況(令和7年3月31日: **被保険者数 18,304 人**)①

均等割 軽減区分	一般(人)②	被扶養者 (人)③	小 計(人) (②+③) ④	割合(%) ④/①
7 割 軽 減	6, 739	602	7, 341	40. 10
5 割 軽 減	3, 296	90	3, 386	18. 50
2 割 軽 減	2, 400	46	2, 446	13. 36
合 計	12, 435	738	13, 173	71. 97

[※] 後期高齢者医療保険制度加入直前に被用者保険(国保. 国保組合は対象外)の被扶養者で あった被保険者については、所得割がかからず、制度加入から2年間は5割軽減となります。

(5) 滞納処分状況

a 被保険者証の制限

令和7年3月31日現在

	資格証明書				
	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	合 計	其俗証明 音
世帯数	0	0	0	0	0
被保険者数(人)	0	0	0	0	0

※短期者証有効期限:なし

- b 差 押 平成23年度から、後期高齢者医療保険料の滞納整理を収納課の所管とし、 効果的・効率的な収納体制が取られています。
- c 分納誓約について 同上

d 令和6年度後期高齢者医療保険料不納欠損状況

令和7年3月31日現在

不 納 欠 損 事 由	人数 (人)	総 期数 (件)	金額(円)
時 効 執行停止を伴わないもの	3	10	73, 300
即 時 欠 損 法第15条の7第5項			
時 効(執行停止済)	4	10	75, 200
合 計	7	20	148, 500

5 経理状況

歳入総額 1,677,927,963 円、歳出総額 1,633,356,952 円となり、収支差引額は 44,571,011 円です。

	令和7年度						
部	保健医療部						
課	課国保年金課						
係等	国保年金担当						

決算書 ページ 285

	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野					
子	項	01	総務管理費	 総 			目標	いきいきと健康に暮らせるまち			
算	目	01	一般管理費]]計[日保	ViaViaと健康に呑りせるより					
	事業	2600010	一般管理費	画	施策	健康づくりの推進					

単位:円

予算現額 ①		決算額(支出済額)②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
5, 000		4, 356			0	644	87. 1%
特定財源の決算額	左	細節名		金額		細節名	金額
	記	事務費繰入金		4, 356			
4, 356	0						
4, 550	内						
	訳						

主要な施策(事務事業)の成果の概要

後期高齢者医療制度は、長野県後期高齢者医療広域連合と市町村が、事業運営に係る事務分担を明確にして、運営されています。

1 被保険者証の交付事務

申請・各種届出の受付、広域連合への申請書等の送付、端末への情報入力、広域連合から送付された資格確認書等の被保険者への交付などを行います。

2 医療給付事務

所得・世帯状況の把握、負担区分判定等の広域連合との連携処理(負担区分判定に必要な情報等の送付)などを行います。

3 保険料の賦課・徴収に係る事務 保険料の徴収、保険料の減免・徴収猶予に係る申請の受付等を行います。

上記の評価と課題等

被保険者証の交付、高額介護合算療養費等給付関係の申請受付事務等が順調に遂行できました。

	令和7年度							
部	保健医療部							
課	国保年金課							
係等	国保年金担当							

決算書 285

	款	01	総務費	→ 総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
子	項	02	徴収費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
算	目	01	徴収費		日保	Vie Vie C 健康に春りせるより
	事業	2600030	徴収費		施策	健康づくりの推進

単位:円

	5.1	# += (-L	_				
予算現額 ①	决	·算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③		不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
6, 111, 000		6, 109, 055		0		1, 945	100.0%
特定財源の決算額	左	細節名		金額		細節名	金額
	記	事務費繰入金		5, 946, 655			
6, 109, 055	の	督促手数料		162, 400			
	内						
	訳						

主要な施策(事務事業)の成果の概要

事務費の確保により、後期高齢者医療保険料徴収事務を行いました。

・納付書等封入封緘業務委託 5,626,043円

上記の評価と課題等

収納課との連携等により、適切かつ効率的な保険料徴収事務が行われ、現年度分については、99.92%となりました。

	令和7年度							
部	保健医療部							
課	課国保年金課							
係等	国保年金担当							

決算書 285

	款	02	後期高齢者医療広域連合納付金	総	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
子	項	01	後期高齢者医療広域連合納付金	合	目標	いきいきと健康に暮らせるまち
算	目	01	後期高齢者医療広域連合納付金	金計画	口信	Vid Vid C 健康に春りせるより
	事業	2600070	広域連合納付金		施策	健康づくりの推進

単位:円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		되 고	翌年度繰越額 ③		不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
1, 626, 517, 000		1, 626, 516, 041			0	959	100.0%
特定財源の決算額	左	細節名		金額		細節名	金額
	記	事務費繰入金		40, 954, 116			
240 141 055	\mathcal{O}	保険基盤安定繰入金		308, 187, 839			
349, 141, 955	内						
	訳						

主要な施策(事務事業)の成果の概要

後期高齢者医療保険の保険者である『長野県後期高齢者医療広域連合』へ、法令等で定められた納付金を納入することにより、健全な運営が保たれています。

1 保険料納付金 1,277,402,575円

広域連合と市町村の役割分担が明確化されており、広域連合は保険料の賦課、市町村は保険料の徴収事務を担うこととされており、市町村は徴収した保険料等については、特別会計を設け、広域連合へ納付します。(高齢者の医療の確保に関する法律第105条)

2 保険基盤安定納付金 308, 187, 839円

低所得者等の保険料軽減分について、市町村と県が公費で負担します。(県3/4・市1/4) 市町村は、広域連合の条例の定めるところにより、減額した保険料相当分を特別会計へ繰り入れ、広域連合へ納付します。(高齢者の医療の確保に関する法律第99条)

3 事務費負担金 40,925,627円

事業運営に係る共通経費として、前年度10月1日現在の人口を基準に、市町村均等割10%、人口割45%、高齢者人口割45%で算定した額を、広域連合へ納付します。(広域連合規約第17条)

上記の評価と課題等

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、決められた納付金を適正に納入することができました。

	令和7年度							
部	保健医療部							
課	課国保年金課							
係等	国保年金担当							

決算書 ページ 285

	款	数 03 諸支出金	諸支出金	総	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
子	項	01	償還金及び還付加算金	心 合	目標	いきいきと健康に暮らせるまち
算	目	01	保険料還付金		日保	(13113と健康に眷りせるより
	事業	2600080	保険料還付金	画	施策	健康づくりの推進

単位:円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		귉	翌年度繰越額 ③		不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
728, 000		727, 500			0	500	99. 9%
特定財源の決算額	左	細節名		金額		細節名	金額
	記						
	\mathcal{O}						
	内						
	訳						

主要な施策(事務事業)の成果の概要

所得の減額更正等により、過年度へ遡及して保険料の減額更正が行われ、それに伴い発生する保険料の還付事務を適切に遂行することができました。

後期高齢者医療被保険者還付金の推移

(単位:円・人)

	還付した額	(内)充当額	還付対象者	充当対象者
令和4年度	474, 600	(内) 34,600	47	8
令和5年度	826, 000	(内) 3,800	127	2
令和6年度	727, 500	(内) 10,600	138	2

上記の評価と課題等

地方税法の規定に基づき、保険料の還付事務が適切に遂行できました。

	令和7年度							
部	保健医療部							
課	国保年金課							
係等	国保年金担当							

決算書 285

	款	03	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野				
子	項	01	償還金及び還付加算金	- 総 - 合	口抽	いきいきと健康に暮らせるまち				
算	目	02	還付加算金	計	目標	いさいさと健康に眷りせるより				
	事業	2600085	還付加算金	画	施策	健康づくりの推進				

単位:円

							十四・11
予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		고 그	翌年度繰越額 ③		不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
0		0			0	0	0.0%
特定財源の決算額	左	細節名		金額		細節名	金額
	記						
	\mathcal{O}						
	内記					<u> </u>	
	訳						

主要な施策(事務事業)の成果の概要

後期高齢者医療保険料(以下「保険料」という)の還付金(過誤納金)が発生した場合、地方税法第17条の4の規定に基づき、保険料が納付された翌日から起算して支払いが決定された日までの間の日数に応じて、年0.9%(令和3年1月1日から令和3年12月31日までの期間は年1.0%、平成30年1月1日から令和2年12月31日までの期間は年1.6%)の割合を乗じて計算した額を、還付すべき過誤納額(保険料)に加算します。

上記の評価と課題等

還付加算金の該当となる還付金はありませんでした。

令和7年度							
部	保健医療部						
課	国保年金課						
係等	国保年金担当						

決算書 ページ 285

	款	04	予備費	総	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
子	項	01	予備費	合合	目標	いきいきと健康に暮らせるまち
算	目	01	予備費	計	日保	V'さV'さく健康に春りせるより
	事業	2600150	予備費	画	施策	健康づくりの推進

単位・円

							平位. 门
予算現額 ①	決	学額(支出済額) ②	ЖI	翌年度繰越額(3	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
39, 850, 000		0			0	39, 850, 000	0.0%
特定財源の決算額	左	細節名		金額		細節名	金額
	記						
	\mathcal{O}						
	内						
	訳		•				

主要な施策(事務事業)の成果の概要

予備費の執行はありませんでした。

上記の評価と課題等

予備費の執行はありませんでした。